

 金澤鐵工株式会社
KANAZAWA IRON WORKS CO.,LTD.



■ お問い合わせ

〒673-0028 明石市硯町 3 丁目 4-17

TEL (078) 927-1361 FAX (078) 927-1363

 <http://www.kanazawatekko.com>



CORPORATE INFORMATION



 金澤鐵工株式会社

KANAZAWA IRON WORKS CO.,LTD.

お客様の信頼に応じて 金澤鐵工の「技」は 世界へ広がります。

7つの海を駆けめぐる 金澤の技術



代表ごあいさつ Top Message

金澤鐵工の歴史は常に「挑戦」です。

まだ圧力容器がリベット構造主体であった時代、電気溶接高圧エヤー tanks の試作に取り組み、昭和25年3月27日に関係官庁お立ち会いの元で破壊試験を行い、その技術を認められ、本邦初の溶接構造によるタンク製作を許可されたメーカーとなりました。

その後もABS、LR、BV、DNV、CRと各船級協会の認定工場となり、昭和51年4月にはタンクメーカーとしてGL船級の工場認定を初めて取得致しました。

また、船用・陸用空気槽のみならず、飽和潜水システム用圧力容器なども手がけており、これについてはその高い気密性が評価され、大深度で長時間連続しての潜水作業をサポートしております。

今後も長年に亘る実績から得た確かな技術や経験を活かし、日本のものづくりの精神を継承して、お客様に満足をお届けしつつ、日々新たな「挑戦」に取り組んでまいります。

今後とも、より一層のご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



金澤鐵工株式会社
代表取締役社長 金澤 良樹

日本初の高圧容器認可メーカーとしての伝統と歴史が現代に息づきます。

変化してやまない造船界にあって、当社は船用圧力容器専門メーカーとしての役割を、高品質製品の提供を通して完璧に果たしてきました。

1950年ABS船級協会認定、1954年ロイド船級協会認定、1976年ドイツ船級協会認定…

質の高い製品づくりへの信念は、世界各国より高い評価を得ています。金澤鐵工は、総合力を結集して更に高度な役割を担い、価値あるものの創造をめざします。



沿革 History

大正8年 3月

神戸市長田区三番町5丁目9番地にガス溶接業並びに内燃機関の製缶及びプレス部品の製造業として、金澤鐵工所を創設。

昭和21年 3月

資本金50万円をもって個人経営より合資会社に改組し、設備を拡充。

昭和8年 2月

電気溶接の重要性に着目して専門工員の拡充を図った戦時中は専ら阪神内燃機工業株式会社の協力工場として、ディーゼル機関の各種製缶部品の初め、駆潜艇用23号8型800馬力及び中速400馬力機関の逆転用高圧油槽並びに、排気集合管の製作に従事し、その技術の優秀性について監督官庁より表彰される。

昭和24年 2月

電気溶接高圧空気槽の試作に着手し、同年3月27日海上保安部、海運局、水産庁、基準局、並びに日本海事協会の各係官で立合の許に、破壊試験を行い、その優秀なる技術を認められ、上記関係官庁より、タンクメーカーとして本邦において、最初の電気溶接による高圧容器の製作を許可される。

昭和25年 3月

ABS船級協会の試験に合格し、認定工場となる。

昭和35年 4月

明石市硯町3丁目4の17に工場を増設し、設備を拡充。

昭和29年 10月

ロイド船級協会より2級電気溶接圧力容器製造の認定工場に指定される。引続き、BV、NV、CR各船級協会の認定工場となる。

昭和36年 2月

資本金200万円をもって株式会社に変更し、社名を金澤鐵工株式会社とする。

昭和44年 6月

通産省（原子力）の認定工場となる。

昭和51年 4月

ドイツ船級協会の試験に合格し、認定工場となる。

平成 2年 5月

日本海事協会第一種圧力容器の工場認定を取得。

平成 9年 5月

日本海事協会船用品事業所認定を取得。

平成27年 4月

取締役社長 金澤伊佐夫が、代表取締役会長に就任、常務取締役 金澤良樹が、代表取締役社長に就任。

平成 3年 7月

高圧ガス取締法による製造認可を取得し、特定設備の製造を開始。

平成23年 6月

ISO 9001:2008を取得。

平成31年 3月

創設100周年を迎える。



金澤鐵工の技術

技術革新は、常に金澤のテーマです

積み重ねた高度な技術が製品を支えます

当社の優秀な製品は、これまで製作してきた数万基分のデータを基にした最新の設計と、約1世紀前から継承されてきた高度な技術で生み出されます。
ロスとミスを許さない徹底した品質、工程管理によって、専用バルブからタンクまで一貫した製造を行っております。
各種船級や検査規格に適応し、厳しい検査を経た当社の製品は世界各国の様々なシーンで活躍し、高い評価を得ています。高品質こそ金澤の誇りであり、専門メーカーとしての証しです。

設計技術

約1世紀分の製図データが蓄積されています。

これまで製作してきた数万基分のデータが弊社の技術力の源として保管されています。
ですが、過去の実績のみを生かすのではなく、常に新しいことへのチャレンジを忘れてはいません。
より強く、より美しく、より安価で、より長く運用いただける圧力容器の設計を目指しています。
お客様のご要望に対し、実績を元に最適な形状、強度を持った圧力容器をご提案させていただきます。



加工/溶接技術

弊社の製造加工現場はオートメーション化が進んでいるとはいえません。
しかし、熟練の職人が製造する圧力容器の品質は決してオートメーションでは再現できるものではありません。最高の加工技術を磨き上げ、継承することで会社の礎を築いてまいりました。
もちろん、技術力を低下させることなく、創意工夫により、ローコスト化も実現しています。
溶接技術には絶対の自信を持っています。
特別ボイラー溶接士、NK溶接資格、JIS溶接資格など、あらゆる溶接資格を取得しています。
圧力容器の最も要となる溶接技術に於いては、常に更なる向上を目指し、技術力の継承と発展を推進しています。



製造認可

- ・ロイド船級協会 (Lloyd's Register Group Limited)
- ・アメリカ船級協会 (American Bureau of Shipping)
- ・DNV船級協会 (DNV AS)
- ・ビューロー・ベリタス (Bureau Veritas)
- ・中國驗船中心 (CR Classification Society)
- ・韓国船級協会 (Korean Register of Shipping)
- ・中国船級協会 (China Classification Society)
- ・日本海事協会 (Nippon Kaiji Kyokai)
- ・国土交通省 (JG)
- ・労働基準局
- ・高圧ガス保安協会
- ・ISO9001:2015



金澤鐵工の製品

高品質の追求—
伝統と技術がすべての
製品のいのちとなって息づきます

ディーゼルエンジン及びタービンエンジン用始動用空気槽の設計・製造

主に中大型ディーゼルエンジンに採用される空気始動に対応した空気槽を製作しています。又、船用だけでなく陸用の非常用ディーゼル発電装置のエンジン始動用等、各種ディーゼル及びタービンエンジンの始動用空気槽の設計・製作をしています。

飽和潜水システム用圧力容器の設計・製造

水深40m以上の大深度での潜水作業を可能とする飽和潜水システム。地上・船上で高圧環境を実現するための再圧タンク (DDC: Deck Decompression Chamber)、高圧環境を維持したままで再圧タンクから海中までを往復するためのベル (SDC: Submersible Decompression Chamber) 等の設計・製作をしています。

一般高圧圧力容器の設計・製造

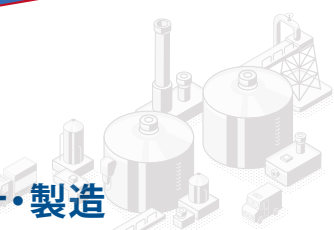
各種プラントや発電所、製鉄所等、様々なシーンで必要とされる高圧圧力容器の設計・製造をしています。

燃料油槽及びオイルドレンセパレーター の設計・製造

空気槽に関わらず、あらゆる用途の容器の製作をしています。
燃料油、高圧ガス、特殊ガス等、様々なご要望にお答えできます。

空気槽用頭部弁 (ヘッダーバルブ)、 ドレン弁、安全弁、逆止弁の設計・製造

頭部弁、ドレン弁、安全弁、逆止弁の設計・製作をしています。
操作性が良く、耐漏洩性に優れた弊社オリジナル製品です。





工場設備 Factory equipment

油圧プレス（600 ton）	1 台	油圧式ベンディングロール（13mm×2050mm×φ420）	1 台
天井走行クレーン（15、10、5、3 ton）	6基	旋 盤（6 尺、5 尺）	3台
電動ホイスト（3、2 ton）	4 基	形削盤（700mm）	1 台
サブマージ溶接機（1000 A）	1 台	ラジアルボール盤	1 台
自動溶接用マニプレーター（3000mm×3000mm）	2 台	ボール盤	3 台
C O ₂ 溶接機（500 A）	1 5 台	鋸 盤（□400×400）	1 台
C O ₂ 溶接機（350A、200A）	3 台	空気圧縮機（22kw×4.2MPa,11kw×0.7MPa）	3 台
TIG溶接機（500 A、300 A）	1 4 台	万能試験機（東京衡機 50 ton）	1 台
交流アーク溶接機（600 A～300 A）	8 台	超音波探傷試験機	1 台
ロボット溶接機（500A）	1 台	超音波板厚計	1 台
ガウジング専用機（D.C.800 A）	2 台	水圧試験ポンプ（15 MPa）	1 台
ターニングロール（20、10、5 ton）	8 台	水圧試験手押しポンプ（68MPa）	1 台
ターンテーブル（1 ton）	1 台	エアープラズマ切断機	1 台
ポジショナー（2000kg, 1000kg, 500kg, 250kg）	6 台	高圧空気圧縮機（14.4kw× 3.5 MPa）	1 台
油圧式ベンディングロール（25mm×3200mm×φ855）	1 台		

納入事例 Examples of use

① 飽和潜水システム用 再圧タンク

DDC:Deck Decompression Chamber

飽和潜水を行う際に、地上・船上で高圧環境を実現するための再圧タンク（居住室）。大深度に潜るとき、減圧症が大きな脅威となります。高圧環境を居住区内に作り出し、減圧症を防止することで長期間の潜水作業を安全に行える環境を提供しています。

② 飽和潜水システム用 潜水ベル

SDC:Submersible Decompression Chamber

潜水士が船上の再圧タンクと作業水深までを高圧環境を維持したまま、安全に昇降できる装置で、潜水ベルと呼ばれています。海中での潜水士の活動拠点となります。

③ エンジン始動用空気槽

災害時発電用ガスタービンエンジンの始動用空気槽
災害発生時など、電力供給に問題があった場合でも溜めておいた圧縮空気でエンジンを始動するための空気槽です。

④ 船舶用始動用空気槽

船舶のディーゼルエンジン始動用空気槽です。
中大型ディーゼルエンジン搭載船舶にはなくてはならない装備であり、シンプルな構造により圧倒的な信頼性を誇ります。また、耐用年数も長期に渡り、船舶本体よりも長期運用が可能です。

⑤ 頭部弁、ドレン弁、安全弁、逆止弁

弊社オリジナルの頭部弁、ドレン弁、安全弁、逆止弁を設計、製作しています。シンプルな構造で低コストを実現しています。また、操作性にも優れ、高い気密性を実現しています。

会社概要 Gompany Profile

	名 称	金澤鐵工株式会社	創 業	大正 8 年 3 月
	代表者	代表取締役社長 金澤良樹	法人設立	昭和 3 6 年 2 月
	本社所在地	神戸市長田区三番町 5 丁目 9	資本金	1,0 0 0 万円
	営業所 及び工場	〒673-0028 兵庫県明石市硯町3丁目4-17 TEL 078-927-1361 FAX 078-927-1363 ※ 都合により連絡は全て明石工場にて承ります。	取引銀行	神戸信用金庫 長田支店 三井住友銀行 明石支店 中国銀行 明石支店 商工組合中央金庫 神戸支店